



10/21

令和3年度土岐市成人式実行委員会 加藤市長へ記念品報告

令和3年度の土岐市成人式実行委員会の後藤愛実委員長と大嶽蓮副委員長が加藤市長のもとを訪れ、記念品の報告を行いました。記念品は、市内4つの窯元の9作品の中から決定した、金城陶器（駄知町）制作の「Glaze works」。6色用意された美濃焼マグカップについて、後藤さんと大嶽さんは「新成人一人一人の個性や多様性を表現しているように感じた」と話しました。



10/23

秋の“花いっぱい運動” 泉が丘町の憩いの広場で苗植え

泉が丘町5丁目の「憩いの広場」で秋の苗植えがありました。同広場はバス停の跡地を泉が丘町長寿クラブの方が3年前から整備。この日は、地域の子ども会や同クラブ、町内会の方々約50人が、パンジーやデージーなど冬を彩る花の苗150株を植え付けました。同クラブの小島さんは「公園が地域のつながりの場になれば」と話し、この取り組みが市内に広がることを期待していました。



10/23・24

駄知どんぶりまつり2021 秋空の街で窯元蔵出しめぐりと散策を堪能

秋空の下、駄知町で「駄知どんぶりまつり」が開催され、両日とも朝から窯元を巡る家族連れなどで賑わいました。蔵出しめぐりには、10軒の窯元が参加。それぞれが特色ある作品をお値打ちに販売していました。お客さんは、普段は見られない工房に並べられた器や工芸品を手に取り、色や形、手触りなどを確かめながらお気に入りの一品を求めていました。



10/27

LED照明を活用した水耕栽培 東海西濃運輸の植物工場を児童が見学

下石小学校の2年生51人が東海西濃運輸の植物工場「コトノハフレッシュファーム」を見学しました。同工場では、フリルレタスやグリーンリーフなどの葉物野菜を生産し、1日に1万3,000株を出荷しています。児童らは工場内に菌を持ち込まないよう、クリーンキャップやガウンに身を包み、土を使わない水耕栽培や太陽光の代わりにLEDを使用した栽培方法などを学びました。

10/4

「つよいぞ！ぎふっ子プロジェクト」 ソーシャルディスタンスを保って楽しく運動

県内の子どもの健やかな成長を目的に、県スポーツ協会が立ち上げた「つよいぞ！ぎふっ子プロジェクト」。この日は、岐阜大学教育学部の春日教授や学生らが濃南小学校を訪れ、ソーシャルディスタンスを保ちながら、学校や家でも楽しめる運動を指導しました。1～3年生の児童は、しゃがんだりジャンプしたりする全身を使ったじゃんけんなどをして、思い切り体を動かしました。



10/8

泉小学校で防災出前講座 地域のハザードマップや避難所用具を学ぶ

泉小学校の4年生が、市危機管理室の防災出前講座を受講し、地域のハザードマップを確かめたり、「簡易トイレ」や布団代わりになる「エアマット」など避難所用具の使い方を学んだりしました。用具の設置を体験した児童は「これなら私たちでもできる」と感想を話していました。防災知識を身に付けた彼らが、将来「助ける人」になってくれることを思います。



10/10

伝統行事を決して絶やすことなく 八幡神社で流鏝馬代替行事

まもなく400年の節目を迎える土岐市の無形文化財「流鏝馬」。新型コロナウイルスの影響により、今年も代替行事が八幡神社（妻木町）で執り行われ、保存会のメンバーらが馬上演武などを披露しました。演武的には、妻木小学校6年生による「疫病退散」の思いが込められた寄せ書きが用意され、メンバーが見事射抜くと、見学者からは歓声があがりました。同神社の黒田正直さんは「来年につながる行事を執り行うことができよかった。来年こそ楽しい祭りを盛大にやれたら」と話し、次回の開催に期待を寄せました。

